

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月15日

計画の名称	ＪＲ南武線連続立体交差事業に関連した道路交通の円滑化を促進する道路整備														
計画の期間	令和０６年度　～　令和１０年度　（５年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	川崎市														
計画の目標	川崎市内の拠点間を連結する道路機能の強化や緊急輸送道路の拡充を図ることを目的とした整備を推進するとともに、連続立体交差事業と併せて事業を実施することで、踏切による交通渋滞を解消し都市交通の円滑化を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		3,000	A	3,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6		R10
1	事業完了に向けた用地取得率を、０％（令和６年度）から３８％（令和１０年度）に増加させる。 当該計画は、連続立体交差事業と併せて整備を行うものであり、事業完了により効果発現することから、計画期間での用地取得率を評価指標として算出する。 用地取得率＝（Σ 年度別用地取得面積）／（用地取得総面積）×100%	0%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	新設	（都）矢向鹿島田線	バイパス L=1.9km	川崎市	■	■	■	■	■	3,000		-	
												小計						3,000		
												合計						3,000		